

令和8年度

授業シラバス・
年間指導計画

国語
(3年)

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科3年 シラバス

教科名	科目名(校内名称)	単位数	教材
国語	論理国語	1	教科書：論理国語(大修館書店) 副教材： 「プレミアムカラー国語便覧」(数研出版) 「重要頻出漢字リアルマスター3300」(尚文出版) 「速読&速解チャレンジ 論理Ⅰ」

学習のねらい	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。
--------	---

授業形態 アドバイス など	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別で授業を進めます。グループ活動や個人での発表を含みます。 ・予習は特に必要ありません。教材となる文章を読み、意味のわからない語句について自主的に調べるようにしていきましょう。授業や復習を通じて自分の考えを広げたり深めたりすることを心掛けましょう。 ・本や新聞などを読んで情報収集することを普段から意識するように心掛けましょう。 ・毎時間の漢字テストを行います。これを利用して語彙力をつけましょう。
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	実社会に必要な国語の知識や技術を身に付けている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
育てたい生徒像 (資質・能力) との関連	教養力 語彙力	理解力 思考力 表現力	自律力 省察力 協働力
主な 評価方法	定期考査	定期考査 レポート・観察	課題の取り組み状況 小テスト

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・「である」と「する」こと ・「ポストモダンと排除社会」 	<ul style="list-style-type: none"> ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・主張とその前提や反証など、情報と情報との関係について理解を深めている。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。 ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉え、文章の内容について説明したり話し合ったりしようとしている。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げ、論証したり討論したりしようとしている。 ・文章の構成や展開の仕方について理解を深め、文章の内容や構成を的確に捉え、その内容を説明したり話し合ったりしようとしている。 ・学習課題を発展させた読書や研究などをしようとしている。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・入試問題演習(問題集・プリント) 	<ul style="list-style-type: none"> ・関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語彙の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の論理展開を追いながら、その論旨を正確に読み取る能力を身に付けることができる。 ・構成・展開を正しくとらえ、言語の使い方の特徴を知り、筆者の述べる内容についての考えを深めることができる。 ・読解のポイントをつかみながら解答するとともに、適切な表現で過不足なく解答を作ることができる。 ・全体の構成を把握し、論の展開に即して正確に解答を読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の働きを理解し、学習課題に沿って、関連する文章の書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深めようとしている。 ・学習に必要な語彙の量を増やし、内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述しようとしている。 ・筆者の主張とその前提や反証など情報と情報の関係について理解を深め、多面的な視点から内容をまとめようとしている。
備考				

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科3年 シラバス

教科名	科目名(校内名称)	単位数	教材
国語	文学国語	2	教科書：高等学校 文学国語(筑摩書房) 副教材：「プレミアムカラー国語便覧」(数研出版) 「重要頻出漢字リアルマスター3300」(尚文出版)

学習のねらい	我が国の言語文化に対する理解を深めるとともに、深く共感したり豊かに想像したりする力、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で自分の思いや考えを広げたり深めたりする資質・能力を育成する。
--------	--

授業形態 アドバイス など	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス単位で授業を進めます。グループ活動や個人での発表を含みます。 ・予習は特に必要ありません。授業で配布される語句のプリントや課題に取り組んでおきましょう。やりながら、知らない漢字や意味があれば、プリント以外のものもチェックして調べるようにしましょう。また、授業中にはフォームを使って自分で発問を考えたり、感想を書いたりする作業や周囲の人と話し合ったりする活動を多く行います。その都度その課題に真剣に取り組むことが考える力やコミュニケーション力を伸ばすこととなります。授業を大切にすることで多くの作品に触れて視野を広げていきましょう。
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
育てたい生徒像(資質・能力)との関連	教養力	理解力 思考力 表現力	自律力 省察力 協働力
主な評価方法	定期考査	定期考査 レポート・観察	課題の取り組み状況 授業への参加状況 授業内での課題

	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・原研哉「情報の彫刻」 ・小川洋子「バックストローク」 ・石原吉郎「あるく共生」の経験から ・真木悠介「骨とまぼろし」 ・安部公房「鞆」 	<ul style="list-style-type: none"> ・人物・情景・心情の描写を的確にとらえて読むという小説の読み方を身に付けている。 ・文学的な文章において用いられる語句に慣れ、意味や使い方を理解できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、心情描写の仕方などを的確に捉えることができる。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景を踏まえ、作品理解を深めることができる。 ・作品を読むことで深めることができた自らのものの見方を、工夫して文章化し他者につたえることができる。 ・作者の比喻表現を理解して、簡潔に説明することができる。 ・異なる文化や時代の表現や考え方を理解し、自分の生き方を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿って、作品を的確に理解しようとしている。 ・自らの考えを他者に伝えようとしている。また、その際に積極的に伝わりやすい表現を工夫しようとしている。 ・協働して学習課題に取り組み、理解を深めようとしている。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・村上春樹「沈黙」 ・共通テスト・センター試験過去問演習 	<ul style="list-style-type: none"> ・人物・情景・心情の描写を的確にとらえて読むという小説の読み方を身に付けている。 ・文学的な文章において用いられる語句に慣れ、意味や使い方を理解できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、心情描写の仕方などを的確に捉えることができる。 ・作品を読むことで深めることができた自らのものの見方を、工夫して文章化することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿って、粘り強く「明治」という時代についての考察を深めようとしている ・学習課題に沿って、作品を的確に理解しようとしている。 ・自らの考えを他者に伝えようとしている。また、その際に積極的に伝わりやすい表現を工夫しようとしている。 ・協働して学習課題に取り組み、理解を深めようとしている。
備考				

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科文系3年 シラバス

教科名	科目名(校内名称)	単位数	教材
国語	古典探究	3	教科書:「古典探究」古文編・漢文編(数研出版) 副教材:「プレミアムカラー 国語便覧」(数研出版) 「新明説総合古典文法」(尚文出版) 「みるみる覚える古文単語」(いっずな書店) 「精選漢文」(尚文出版)

学習のねらい	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を身に付ける。
--------	--

授業形態 アドバイス など	<ul style="list-style-type: none"> ・「古文」と「漢文」に分けて学習していきます。 ・習熟度別で授業を進めます。グループ活動や個人での発表などを含みます。 ・予習→授業→復習の積み重ねを続けてください。 ・予習では重要語句の意味を調べ、自分の力で現代語訳を考えることが大切です。自分が理解できなかった点や疑問を持った点を明確にして、目的意識を持って授業に臨んでください。 ・しっかり音読してください。音読することで古文や漢文独特の語調を身に付けることが重要です。
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技術を身に付けている。 我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を身に付けている。 古典などを通した先人のものの見方や感じ方との関わりを意識して、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会と関わろうとしている。
育てたい生徒像(資質・能力)との関連	教養力	理解力 思考力 表現力	自律力 省察力 協働力
主な評価方法	定期考査・課題考査 レポート・観察	定期考査・課題考査 レポート・観察	課題の取り組み状況 小テスト・振り返りシート・観察

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	枕草子 「二月つごもりごろに」 「中納言参り給ひて」 大鏡 「南院の競射」 蜻蛉日記 「うつろひたる菊」 和泉式部日記	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の文の成分や順序、文章の構成や展開の仕方について理解している。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国と中国など外国の文化との関係について理解している。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読の 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえ、構成や展開などを的確に捉えることができる。 ・文章の種類を踏まえ、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。 ・作品の成立した背景や他の作品との関係を踏まえながら古典作品を読み、作品の価値について 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで古典作品を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めようとする姿勢が見られる。 ・古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとする姿勢が見られる。 ・古典作品の書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を理解しようとする

	<p>「薫る香に」</p> <p>思想 論語 孟子 「不忍人之心」 荀子 「性悪」 「勸学」</p>	<p>きまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 語句や句法を正しく理解した上で現代語訳ができる。 ・ 文章中にある比喩の対象を的確に理解している。 ・ 中国の歴史・文化について理解している。 ・ 登場人物の心情を文脈に従って丁寧に読むことができる。 	<p>考察することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 古典の作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえて、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げることができる。 	<p>姿勢が見られる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の心情を、叙述を根拠として粘り強く理解しようとしている。
後期	<p>源氏物語 「車争ひ」 「明石の姫君入内」</p> <p>無名抄 「俊成自讃歌のこと」</p> <p>石上私淑言 「もののあはれを知る」</p> <p>老子 「大道廃有仁義」 「無用之用」 「小国寡民」</p> <p>莊子 「夢為胡蝶」 「渾沌」</p> <p>韓非子 「侵官之害」 「聖人不期修古」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典の文の成分や順序、文章の構成や展開の仕方について理解している。 ・ 古典などを読むを通して、我が国の文化の特質や、我が国と中国など外国の文化との関係について理解している。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 ・ 語句や句法を正しく理解した上で現代語訳ができる。 ・ 文章中にある比喩の対象を的確に理解している。 ・ 中国の歴史・文化について理解している。 ・ 登場人物の心情を文脈に従って丁寧に読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の種類を踏まえ、構成や展開などを的確に捉えることができる。 ・ 文章の種類を踏まえ、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。 ・ 作品の成立した背景や他の作品との関係を踏まえながら古典作品を読み、作品の価値について考察することができる。 ・ 古典の作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえて、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げることができる。 ・ 登場人物の心情を叙述を根拠として考えることができる。 ・ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、語句などの表現の仕方を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進んで古典作品を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めようとする姿勢が見られる。 ・ 古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとする姿勢が見られる。 ・ 古典作品の書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を理解しようとする姿勢が見られる。 ・ 登場人物の心情を、叙述を根拠として粘り強く理解しようとしている。
備考				

令和8年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科理系・理数科3年 シラバス

教科名	科目名(校内名称)	単位数	教材
国語	古典探究	2	教科書:「古典探究」古文編・漢文編(数研出版) 副教材:「プレミアムカラー 国語便覧」(数研出版) 「新明説総合古典文法」(尚文出版) 「みるみる覚える古文単語」(いづな書店) 「精選漢文」(尚文出版)

学習のねらい	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を身に付ける。
--------	--

授業形態 アドバイス など	<ul style="list-style-type: none"> ・「古文」と「漢文」に分けて学習していきます。 ・習熟度別で授業を進めます。グループ活動や個人での発表などを含みます。 ・予習→授業→復習の積み重ねを続けてください。 ・予習では重要語句の意味を調べ、自分の力で現代語訳を考えることが大切です。自分が理解できなかった点や疑問を持った点を明確にして、目的意識を持って授業に臨んでください。 ・しっかり音読してください。音読することで古文や漢文独特の語調を身に付けることが重要です。
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技術を身に付けている。 我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を身に付けている。 古典などを通した先人のものの見方や感じ方との関わりを意識して、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会と関わろうとしている。
育たい生徒像(資質・能力)との関連	教養力	理解力 思考力 表現力	自律力 省察力 協働力
主な評価方法	定期考査・課題考査 レポート・観察	定期考査・課題考査 レポート・観察	課題の取り組み状況 小テスト・振り返りシート・観察

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	枕草子 「二月つごもりごろに」 大鏡 「南院の競射」 蜻蛉日記 「うつろひたる菊」	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の文の成分や順序、文章の構成や展開の仕方について理解している。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国と中国など外国の文化との関係について理解している。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読の 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえ、構成や展開などを的確に捉えることができる。 ・文章の種類を踏まえ、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。 ・作品の成立した背景や他の作品との関係を踏まえながら古典作品を読み、作品の価値について 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで古典作品を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めようとする姿勢が見られる。 ・古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとする姿勢が見られる。 ・古典作品の書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を理解しようとする

	<p>思想 論語 孟子 「不忍人之心」 荀子 「性悪」 「勸学」</p>	<p>きまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・語句や句法を正しく理解した上で現代語訳ができる。 ・文章中にある比喩の対象を的確に理解している。 ・中国の歴史・文化について理解している。 ・登場人物の心情を文脈に従って丁寧に読むことができる。</p>	<p>考察することができる。 ・古典の作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえて、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げることができる。</p>	<p>姿勢が見られる。 ・登場人物の心情を、叙述を根拠として粘り強く理解しようとしている。</p>
後期	<p>源氏物語 「明石の姫君入内」 無名抄 「俊成自讃歌のこと」 石上私淑言 「もののはれを知る」 老子 「大道廃有仁義」 「無用之用」 「小国寡民」 莊子 「夢為胡蝶」 「渾沌」 韓非子 「侵官之害」 「聖人不期修古」</p>	<p>・古典の文の成分や順序、文章の構成や展開の仕方について理解している。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国と中国など外国の文化との関係について理解している。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 ・語句や句法を正しく理解した上で現代語訳ができる。 ・文章中にある比喩の対象を的確に理解している。 ・中国の歴史・文化について理解している。 ・登場人物の心情を文脈に従って丁寧に読むことができる。</p>	<p>・文章の種類を踏まえ、構成や展開などを的確に捉えることができる。 ・文章の種類を踏まえ、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。 ・作品の成立した背景や他の作品との関係を踏まえながら古典作品を読み、作品の価値について考察することができる。 ・古典の作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえて、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げることができる。 ・登場人物の心情を叙述を根拠として考えることができる。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、語句などの表現の仕方を工夫することができる。</p>	<p>・進んで古典作品を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めようとする姿勢が見られる。 ・古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとする姿勢が見られる。 ・古典作品の書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を理解しようとする姿勢が見られる。 ・登場人物の心情を、叙述を根拠として粘り強く理解しようとしている。</p>
備考				